

【事後評価】点検と検証：事後評価計画に対するチェックリスト

事業名	
資金分配団体名	
実行団体名	

【チェックリストの使い方】

- ・点検として事後評価計画時に、検証として事後評価報告書のドラフト提出時にそれぞれ確認を行います。
- ・「主な視点」に基づいて確認をしたらチェックを入れてください。確認の結果や判断基準、理由については右欄に記載してください。

1	アウトカム測定計画は、事業の成果を適切に捉えられるものか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	あらかじめ設定した短期アウトカムのほかに改めて追加する短期アウトカムはあるか	▽	▽	
	あらかじめ設定した短期アウトカムのそれぞれの指標について、実際に測定が可能なものとなっているか	▽	▽	
	多面的な測定により事業の成果を捉えられているか（受益者の変化だけではなく、非資金的支援による実行団体自身の変化や関係団体との関係性、地域・環境の変化など）	▽	▽	
	量的、質的データ（量的な変化、質的な変化の測定）を適切に組み合わせたデータ収集を行っているか	▽	▽	
	波及性や社会ニーズへの対応など、社会的成果を捉えようとしているか	▽	▽	
	効率性を検討する指標は検討されているか。	▽	▽	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	▽	▽	
2	価値判断基準は適切に設定されているか、その精度を高める取り組みはされているか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	設定した目標値は根拠に基づいたものか	▽	▽	
	短期アウトカムの価値判断基準は中長期アウトカムに繋がっているか	▽	▽	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	▽	▽	
3	要因分析の計画が立てられているか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	要因分析をするための検証方法や実施体制などが明確になっているか			※2,3項目と重複するため削除
	アウトカム達成の要因分析をするための検証方法や実施体制などが明確になっているか	▽	▽	
	アウトカム達成の妨げとなった課題や計画どおり進捗しなかった場合の要因分析をするための検証方法や実施体制などが明確になっているか	▽	▽	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	▽	▽	
4	評価結果をどのようにまとめるか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	事業実施の妥当性評価について、課題やニーズの適切性、事業設計の整合性、事業運営管理の適切性、成果の達成状況等のすべてを振り返り、総合的に検証しようとしているか	▽	▽	
	収集しようとしているデータはこの事業からの提言、知見・教訓を導き出すために必要な情報となっているか。	▽	▽	
	複数の多様な関係者の視点で、提言、知見・教訓を導き出すための場が設定されているか	▽	▽	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	▽	▽	
5	評価関連経費により、自己評価の質を高める計画になっているか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	事実特定をするための調査の実施や、客観性のある価値判断を行うための関係者との場の設定など、経費が有効に活用できているか	▽	▽	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	▽	▽	
6	評価実施体制は適切か	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	実行団体だけでなく、事業で連携したほかの組織や受益者、分野の専門家など、複数の視点から多面的な情報を得られる体制になっているか	▽	▽	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	▽	▽	
7	評価結果の報告と活用に向けて準備ができているか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	評価結果をどのようにまとめて、いつ、誰に対して、何を、どのように伝えるかの計画はできているか	□	□	
	※（その他）その他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい（以降についても同様）	□	□	